

様式第4号（第5条関係）

政務活動費収支報告書

令和7年4月11日

盛岡市議会議長

遠藤政幸様

議員氏名 野中靖志

盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により
令和6年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収 入	政務活動費 ①	600,000 円	✓
支 出	調査研究費	円	
	研修費	円	
	広報費	330,550 円	市民に対する市政報告として広報紙（No.12）の発行・配布
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	330,550 円	✓
差引残余 ①－②		269,450 円	✓

様式第5号

政務活動費出納簿

【令和6年度分】

(単位：円)

年月日	内 容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳								
				調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所 費
R6. 4. 10	政務活動交付金	300,000										
R6. 10. 10	政務活動交付金	300,000										
R7. 3. 31	市議会活動報告 (No.12) にかかる 広報印刷費 (カ ラー、5000部)		220,000			220,000						
R7. 3. 31	市議会活動報告 (No.12) にかかる 広報印刷費 (単 色、1500部)		110,550			110,550						
経費小計						330,550						
合計額		600,000	330,550	差引残余額						269,450		

様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	広報費 /
------	-------

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
R7. 3. 31 /	220, 000 / 円	市議会活動報告 (No.12) / にかかる広報印刷費 (カラー、5000部) /	
R7. 3. 31 /	110, 550 / 円	市議会活動報告 (No.12) / にかかる広報印刷費 (単色、1500部) /	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	330, 550 / 円		

様式第 7 号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R7.3.31
------	-----	-----	---------

支出証拠書類の額面金額	220,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	220,000	円

【支払概要】

市議会活動報告（No.12）にかかる広報印刷費（カラー、5000部）
（2025年3月発行 5000部）

【支出内訳】

No.12：5000部（カラー、ユニバーサルフォント使用、3つ折り）
@40円×5000部＝200,000円＋20,000円（消費税）＝220,000円（税込み）

領収書等添付欄	☐ 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 証

No. 0151

令和 7 年 3 月 31 日

野中やすじ 様

金 ￥ 220,000 円也

但し、市議会活動報告印刷代として

（内、消費税 20,000 円）

上記金額正に領収致しました。ありがとうございました。

（有）ジロー印刷企画

代表取締役 名久井 龍 夫

〒020-0066 盛岡市上田 2 丁目 17

TEL019 (651) 6644 FAX019 (652) 2666

登録番号 T3400002001663

種別 現金・小切手・振込
相殺・手形

お客様の名前、日付、金額の記載のないもの、訂正されたもの、社印、取扱者印、但し書きのないものは無効



取扱者

御見積り書

2025年3月28日

野中やすし 様

有限会社ジロー印刷企画
岩手県盛岡市上田2-17-4
Tel. 019-651-6644 Fax 019-652-2610
mail@jirou.co.jp

担当 : XXXXXXXXXX

いつもお世話になっております。
以下の通りお見積り申し上げます。

積算金額 ¥220,000 (税込み)

本御見積り有効期限:発行日より1ヵ月とさせていただきます。

項 目	数 量	単 位	単 価	金 額
宝積つうしん No.12	5,000	枚	40.00	200,000
A4 両面 カラー マットコート48.5k				
DM折 オフセット印刷				
備考:			小 計	200,000
			消費税	20,000
			合 計	220,000

ほう じゃく 宝 積 っうしん

ほうじゃく＝人に尽くして見返りを求めず

野中やすし市議会活動報告

No.12 2025年 春号



連絡先

〒020-0801 盛岡市浅岸三丁目5-20

携帯電話 080-5577-7836

E-mail: houzyaku0825@gmail.com



のなか 野中やすし

1963年生(61歳)

矢巾町出身

盛岡第三高校卒

市議会議員 2期

市交通指導員

趣味:剣道(観ること)

主な活動です

盛岡市議会 会派「市政クラブ」に所属

産業環境常任委員

環境保全対策特別委員長

盛岡市交通安全指導員

※市政の事なら何でもお気軽にご相談を!

市民の笑顔かがやくまちづくり

春を迎え、時節柄、皆様におかれましてはお忙しい日々を送られていることと存じます。また、私の議会活動に対し、ご理解とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年1月の「鳥インフルエンザ」の感染拡大、2月に入り気仙地域における相次ぐ大規模な「山林火災」と、被害にあったすべての皆様へ心からお見舞いを申し上げます。

また、最前線に対応された関係者の皆様に心より敬意を表します。

天災・人災問わず災害は、いつ、どこで発生するのか予測するのが難しく、自治体における「防災力」の強化は喫緊の課題です。

私は、天災・人災問わず、災害に強いまちづくりこそが、「市民の笑顔かがやく街もりおか」につながるものと考えます。

これからも、皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

市の防災力の強化について (3月定例会)

本年2月26日に発生した大船渡市の山林火災は、市の面積の約8%が焼失し、避難者は市民の約15%の1,400人にも上りました。

懸命な消火活動にもかかわらず、乾燥と強風によって延焼し続けましたが、降雨などもあり、発火から12日後に「鎮圧宣言」が出されました。

ところで、長期化する避難生活の課題として、避難所が狭いため、「段ボールベッド」がほとんど活用されないという問題が明らかになりました。

多くの避難民が、キャンプ用マットや自宅から運び込んだマットを床に敷いて寝たと言われています。

新型コロナやインフルエンザの流行時期とも重なり、床で寝るのは衛生面からも問題があります。

また、避難者が安全、安心して使える「トイレ」の確保も重要な課題です。

市の面積の7割が森林である本市においても、いつ大規模な山林火災が発生するかわかりません。

延焼が長期化する大規模な山林火災が発生した場合、多くの避難者を迅速に収容するための避難所と安全な避難方法の確保、正確な避難者の把握や災害地域の防犯体制の強化など、課題は山積です。

三月定例会において、私が所属する会派「市政クラブ」として、山火事防止に向け市民への注意喚起の徹底、「段ボールベッド」の確保や「トイレトレーラー」の配備などについて、市当局に要請しました。



市民の移動支援について (公共交通空白地域の移動支援を)



【盛岡市が玉山地区で運行する患者輸送バス】

盛岡市当局は、現在、大葛地区をはじめ市内の「公共交通空白地域」の6コースで運行されている「患者輸送車」について、従来の「毎週」運行から、本年7月より「隔週」で運行すると提案しました。

この患者輸送車は、2023年度の運航実績を見ると、8コース合計で年間306回、1,593人の利用がありました。(1回平均 5.2人が利用)

当局の提案の背景には、全国的な運輸業界の深刻な運転手不足があると言われています。

しかしながら、当局の唐突な減便の提案を受け、利用者から、「患者バスのない日は、自宅と市内片道のタクシー代が9000円もかかる。物価高騰だけでも大変なのに・・・」と、市当局から代替の交通手段も示さず一方的な提案に不安の声が多く出ました。

この問題について、三月定例会の「一般質問」で取り上げ、当局の考えを質したところです。
市では現在、滝沢市や矢巾町と共に、「盛岡都市圏地域公共交通会議」(会長:小原盛岡市副市長)を設置して、公共交通空白地域における市民の円滑な移動手段の確保などについて、本年9月を目途に計画の策定作業が進められています。

私から、「市として、本年7月からの『減便』を見切り発車することなく、当該地域の切実な声を受けとめ、安心して通院できる移動手段を確保してほしい」と強く要望しました。

原敬こそ 憲法9条のルーツだ！

敗戦から80年 平和憲法をまもろう！



昨年11月30日、盛岡で開催された講演会「三ジジ放談」で、非常に貴重なお話を聞く機会がありました。それは、元参議院議員の平野貞夫さん、元文部科学事務次官の前川喜平さん、評論家の佐高信さんの三人が「原敬

と議会政治」と言うテーマでディスカッションしたものです。(YouTubeで視聴できます。)

敗戦後、マッカーサーに現行憲法の『9条』を提案したのは当時の首相だった幣原喜重郎(してはらきじゅうろう)であると言われています。

講演では、「幣原は、1919年、原敬内閣で駐米大使を務め、第一大戦後に開催された国際軍縮会議であるワシントン会議へ日本の全権委員として出席。その後、外務大臣も務めた」と言う歴史をひもときました。

その幣原は、駐米大使の当時から、軍部と対立していた原敬が主張していた『国際協調主義』や『非戦』の政治理念に強く影響を受けと言います。

敗戦後、2番目の総理大臣に就任した幣原は、『戦争の放棄』、『戦力の不保持』、『交戦権の否認』を謳う『9条』を憲法に盛り込むことをGHQ最高司令官のマッカーサーに提案しました。まさに、原敬が憲法9条のルーツであったと言えます。

今年には戦後80年。世界ではウクライナとロシアの紛争をはじめ、いまだ戦禍が絶えません。

「戦争を知らない世代」が今や総人口の9割となる中、あらためて、原敬の偉業を再評価し、平和の大切さを訴えていきたいと思えます。

お気軽に市政の相談をお寄せください。

【連絡先】

〒020-0801 盛岡市浅岸三丁目5-20

携帯Tel: 080-5577-7836

E-mail: houzyaku0825@gmail.com

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	R7.3.31
支出証拠書類の額面金額	110,550 円		
支出按分率（※按分が必要な場合）			
政務活動費支出金額	110,550 円		
【支払概要】 市議会活動報告（No.12）にかかる広報印刷費（単色、1500部） （2025年3月発行 1500部）			
【支出内訳】 No.12：1500部（単色、ユニバーサルフォント使用 3つ折り） @67円×1500部=100,500円+10,050円（消費税）=110,550円（税込み）			
領収書等添付欄 ☐ 別紙に添付			

領 収 証

No. 0152

令和7年3月31日

野中やうじ

様

金 110,550 円也

但し、市議会活動報告印刷代として

(内、消費税10,050円)

上記金額正に領収致しました。ありがとうございました。

種別	現金・小切手・振込 相殺・手形
----	--------------------

お客様の名前、日付、金額の記載のないもの、訂正されたもの、社印、取扱者印、但し書きのないものは無効

(有) ジロー印刷企画

代表取締役 名久井 龍 夫
〒020-0066 盛岡市上田2丁目17
TEL019 (651) 6644 FAX019 (652) 2655

登録番号 T3400002001663



取扱者

御見積り書

野中やすし 様

岩手県盛岡市上田2-17-4

Tel. 019-651-6644 Fax 019-652-2610

mail@jirou.co.jp

担当：

いつもお世話になっております。
以下の通りお見積り申し上げます。

積算金額

¥110,550

(税込み)

本御見積り有効期限：発行日より1ヵ月とさせていただきます。

項 目	数 量	単 位	単 価	金 額
宝積つうしん No.12 /	1,500	/ 枚	67.00	/ 100,500
A4 両面 単色 マットコート48.5k				
DM折 オフセット印刷				
備考:			小 計	100,500
			消費税	10,050
			合 計	110,550

ほう じゃく

宝積 つうしん

ほうじゃく＝人に尽くして見返りを求めず
(平民宰相 原敬の座右の銘)

野中やすし 市議会活動報告

No.12 2025 年 春号



連絡先

〒020-0801 盛岡市浅岸 3 丁目-5-20

携帯Tel 080-5577-7836

E-mail houzyaku0825@gmail.com



のなか
野中やすし

1963 年生(61 歳)
矢巾町出身
盛岡第三高校卒
市議会議員 2 期
市交通指導員
趣味: 剣道(観ること)

主な活動です

盛岡市議会 会派「市政クラブ」に所属
産業環境常任委員
環境保全対策特別委員長

盛岡市交通安全指導員

※市政の事なら何でもお気軽にご相談を!

市民の笑顔かがやくまちづくり

春を迎え、時節柄、皆様におかれましては
お忙しい日々を送られていることと存じます。
また、私の議会活動に対し、ご理解とご指導を賜
り、心より感謝申し上げます。

さて、本年 1 月の「鳥インフルエンザ」の感染
拡大、2 月に入り気仙地域における相次ぐ大
規模な「山林火災」と、被害にあったすべての
皆様へ心からお見舞いを申し上げます。

また、最前線に対応された関係者の皆様に
心より敬意を表します。

天災・人災問わず災害は、いつ、どこで発生
するのか予測するのが難しく、自治体における
「防災力」の強化は喫緊の課題です。

私は、天災・人災問わず、災害に強いまちづ
くりこそが、「市民の笑顔かがやく街もりおか」
につながるものと考えます。

これからも、皆様のご支援、ご指導をよろし
くお願い申し上げます。

市の防災力の強化について

(3月定例会)

本年 2 月 26 日に発生した大船渡市の山林火災
は、市の面積の約 8 %が焼失し、避難者は市民の
約 15 %の 1,400 人にも上りました。

懸命な消火活動にもかかわらず、乾燥と強風に
よって延焼し続けましたが、降雨などもあり、発
火から 12 日後に「鎮圧宣言」が出されました。

ところで、長期化する避難生活の課題として、
避難所が狭いため、「段ボールベッド」がほとんど活
用されないという問題が明らかになりました。

多くの避難民が、キャンプ用マットや自宅から運び
込んだマットを床に敷いて寝たと言われています。

新型コロナやインフルエンザの流行時期とも重な
り、床で寝るのは衛生面からも問題があります。

また、避難者が安全、安心して使える「トイレ」の確
保も重要な課題です。

市の面積の 7 割が森林である本市においても、い
つ大規模な山林火災が発生するかわかりません。

延焼が長期化する大規模な山林火災が発生した
場合、多くの避難者を迅速に収容するための避難所
と安全な避難方法の確保、正確な避難者の把握や災
害地域の防犯体制の強化など、課題は山積です。

三月定例会において、私が所
属する会派「市政クラブ」として、
山火事防止に向け市民への注意
喚起の徹底、「段ボールベッド」の
確保や「トイレトレーラー」の配備
などについて、市当局に要請しま
した。



市民の移動支援について

(公共交通空白地域の移動支援を)



【盛岡市が玉山地区で運行する患者輸送バス】

盛岡市当局は、現在、大葛地区をはじめ市内の「公共交通空白地域」の6コースで運行されている「患者輸送車」について、従来の「毎週」運行から、本年7月より「隔週」で運行すると提案しました。

この患者輸送車は、2023年度の運航実績を見ると、8コース合計で年間306回、1,593人の利用がありました。(1回平均 5.2人が利用)

当局の提案の背景には、全国的な運輸業界の深刻な運転手不足があると言われています。

しかしながら、当局の唐突な減便の提案を受け、利用者から、「患者バスのない日は、自宅と市内片道のタクシー代が9000円もかかる。物価高騰だけでも大変なのに…」と、市当局から代替の交通手段も示さず一方的な提案に不安の声が多く出ました。

この問題について、三月定例会の「一般質問」で取り上げ、当局の考えを質したところです。

市では現在、滝沢市や矢巾町と共に、「盛岡都市圏地域公共交通会議」(会長:小原盛岡市副市長)を設置して、公共交通空白地域における市民の円滑な移動手段の確保などについて、本年9月を目途に計画の策定作業が進められています。

私から、「市として、本年7月からの『減便』を見切り発車することなく、当該地域の切実な声を受けとめ、安心して通院できる移動手段を確保してほしい」と強く要望しました。

原敬こそ

憲法9条のルーツだ！

敗戦から80年 平和憲法をまもろう！



昨年11月30日、盛岡で開催された講演会「三ジジ放談」で、非常に貴重なお話を聞く機会がありました。それは、元参議院議員の平野貞夫さん、元文部科学事務次官の前川喜平さん、評論家の佐高信さんの三人が「原敬と議会政治」と言うテーマでディスカッションしたものです。(YouTubeで視聴できます。)

敗戦後、マッカーサーに現行憲法の『9条』を提案したのは当時の首相だった幣原喜重郎(しではらきじゅうろう)であると言われています。

講演では、「幣原は、1919年、原敬内閣で駐米大使を務め、第一大戦後に開催された国際軍縮会議であるワシントン会議へ日本の全権委員として出席。その後、外務大臣も務めた」という歴史をひもときました。

その幣原は、駐米大使の当時から、軍部と対立していた原敬が主張していた『国際協調主義』や『非戦』の政治理念に強く影響を受けと言います。

敗戦後、2番目の総理大臣に就任した幣原は、『戦争の放棄』、『戦力の不保持』、『交戦権の否認』を謳う『9条』を憲法に盛り込むことをGHQ最高司令官のマッカーサーに提案しました。まさに、原敬が憲法9条のルーツであったと言えます。

今年は戦後80年。世界ではウクライナとロシアの紛争をはじめ、いまだ戦禍が絶えません。

「戦争を知らない世代」が今や総人口の9割となる中、あらためて、原敬の偉業を再評価し、平和の大切さを訴えていきたいと思います。

お気軽に市政の相談をお寄せください。

【連絡先】

〒020-0801 盛岡市浅岸三丁目5-20

携帯TEL : 080-5577-7836

E-mail : houzyaku0825@gmail.com